

## 環境保全および地域社会貢献への取り組み

住友ゴムグループは、地球環境保全活動を経営の最重要事項と位置付け、グループ全体の環境経営を継続的に進めています。また、事業所周辺を中心とした地域社会への貢献活動も積極的に行っています。当期の主な活動は以下のとおりです。

### 国内全6工場で完全ゼロエミッション、海外全4工場でもゼロエミッションを達成

2006年8月にスマラバーマレーシア、11月に中国・中山住膠精密橡膠有限公司がゼロエミッション\*を達成しました。

国内全6工場は、2005年にすでに埋立廃棄物を完全になくした完全ゼロエミッション\*を達成しており、これにより、2006年11月に新設されたばかりのタイ工場・ベトナム工場を除く全ての国内、海外主要工場がゼロエミッション以上を達成しました。

\*「ゼロエミッション」とは、廃棄物の埋立による処分が1%未満であることを言い、「完全ゼロエミッション」とは、埋立による処分が0%であることを言います。

### 国内外の全主要事業所でISO14001取得完了

日常業務における環境保全活動の質の向上を図るため、ISO14001環境マネジメントシステムの認証取得と維持管理を推進しています。国内の6工場については、1998年までに取得が完了し、毎年継続認証を受けています。海外工場についても、従業員に対する勉強会の実施や省エネ活動の強化、廃棄物の分別回収など、全員参加による環境マネジメントを推進してきました。その結果、2003年のスマラバーインドネシア、2004年の中山住膠精密橡膠有限公司、2005年のスマラバーマレーシアに続いて、2005年10月に住友橡膠(常熟)有限公司/住友橡膠(蘇州)有限公司が認証を取得しました。これにより、住友ゴム

グループの国内・海外の主要事業所全てで取得が完了したことになります。

### 国内タイヤ全工場にコージェネレーションシステムを導入、さらに拡大計画

2005年10月、タイヤ製造工場である名古屋工場において、ESCO事業方式\*\*を利用した大規模なコージェネレーション(熱電併給)システムを導入しました。これにより、白河、宮崎、泉大津と合わせて国内のタイヤ4工場におけるコージェネレーションシステムの導入が完了しました。

また、2006年8月、SRIハイブリッド(株)加古川工場で燃料を重油から天然ガスに変更、さらに2007年4月にはコージェネレーションシステムを導入しました。全設備稼働後の加古川工場のCO<sub>2</sub>排出量は、対前期比37.0%の削減を見込んでいます。

\*\*ESCO事業方式: Energy Service Companyの略称。省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、その顧客の省エネメリットの一部を報酬として享受する事業。

### 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進協議会会長賞を連続受賞

2006年10月、住友橡膠(常熟)有限公司/住友橡膠(蘇州)有限公司は、3Rに率先して取り組み、顕著な実績を上げたとして表彰されました。2003年に本社、白河、名古屋、市島、加古川工場



加古川工場に導入されたコージェネレーションシステム



住友橡膠(常熟)有限公司/住友橡膠(蘇州)有限公司の外観および環境報告書



が受賞してから4年間連続となります。また、海外工場では、2005年にインドネシア工場が日本のゴム製造会社として初受賞しましたが、中国の工場もそれに続きました。なお、住友橡膠(常熟)有限公司/住友橡膠(蘇州)有限公司は、2006年3月に「環境報告書」を制作し、環境保全活動の内容を公開しています。

#### 加古川工場の土壌・地下水浄化処理

2004年、SRIハイブリッド(株)の加古川工場の敷地内で、環境基準を上回る揮発性有機化合物が確認されました。同社は加古川市へ届け出るとともに汚染除去対策を開始。また、近隣住民への説明会を実施しました。土壌に関しましては、汚染土壌を除去後、土壌汚染対策法に則り適正に処理し、2004年12月に処理が完了しました。地下水に関しましては、汚染地下水を汲み上げ、処理装置による浄化処理を継続して行っています。

#### 園庭・遊具下用ロングパイル人工芝「ハイブリッドターフ PG」を加古川市に寄贈

2006年7月、工場所在地である兵庫県加古川市に、衝撃吸収性を高めたクッション性遊具下用ロングパイル人工芝「ハイブリッドターフ PG」150㎡を寄贈しました。砂を充填した芝丈の長い人工芝と、弾性クッション層で構成されたこの人工芝は、落下の恐れがある遊具下など高い安全性が要求される場所に最適で、転落時の危険性を軽減する上、1年を通して緑の芝が保たれることから景観面でも優れています。

住友ゴムグループは、加古川市以外にもグループの工場近隣の幼稚園・保育園に「ハイブリッドターフ PG」を寄贈しており、園関係者からは「子供たちの遊び場の安全確保ができた上、屋外で遊

ぶ時間が増えているので体力増進にもつながる」などの評判をいただいています。

#### 子供たちへのゴルフスクールを開催

住友ゴムグループは、若者に幅広くゴルフを親しんでもらうこととゴルフというスポーツを通じて健やかな身体作りを目的として、2002年から特定非営利活動法人(NPO)主催の「ダンロップジュニアゴルフスクール」に協力しています。当スクールは、小学1年生から高校3年生までの、全く経験のない方から経験者までを対象としています。レッスンではレベル別にクラス分けを行い、それぞれのレベルに合った技術指導やマナー、ルール教育などが行なわれています。

#### “FTSE4Good Global Index”に継続採用

住友ゴム工業(株)は2006年、世界的なSRI(社会的責任投資)インデックスの1つである“FTSE4Good Global Index”に、2005年に続いて採用されました。FTSE4Goodとは、英国の株式指数開発機関であるFTSEインターナショナル社が、社会的責任投資の対象として、「環境面(環境保全に向け積極的に行動していること)」「社会面(ステークホルダーとの建設的な関係を構築していること)」「人権面(世界共通の人権擁護に取り組み、この活動を支持していること)」の3つの視点から企業を選ぶ指数シリーズです。



加古川市に寄贈された遊具下用ロングパイル人工芝「ハイブリッドターフ PG」



ダンロップジュニアゴルフスクールの様子